

鶴ヶ島市立新町

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針	教職員	①私は、学校教育目標や教育方針を理解し、達成できるよう努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果について の分析・課題</p> <p>本年度は、『自己有用感を高め、学習意欲につなげ、確かな学力を育成する』をテーマに学校課題研究を推進している。児童の実態を把握し、一人一人の自己有用感を高める指導法について研究し、全教職員が指導技術を高めることで、児童の自己有用感を高めていきたい。児童の非認知能力の向上が、本校の目標である学力向上に繋がると考えている。</p>
	児童	①私は、学級目標や個人目標を達成するために努力している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>本校の児童は「先生を信頼している」との思いが強い。これも本校の教職員が児童へ愛情を注ぐと共に、一人一人への声掛けや指導の方法を常に工夫し積み重ねてきた成果である。今後更に児童の教員への信頼度を高め、自己有用感を向上させていく。</p>
	保護者	①私は、学校教育目標や教育方針を知っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>○年度当初いただいている「新町小学校教育計画」により、「新町小学校教育目標」「目指す学校像」「目指す児童像」について示され、地域においても、このことに沿って学校に協力、児童の見守りを行っている。 ○学校運営協議会開催時等の意見交換で納得するまで話し合い、すべて了解している。 ○学校便り等で、しっかりと発信されているので、理解できる。 ○学校教育目標が少しでも多くの地域の方に浸透することによって、地域の方の児童に対する関わり方が変わってくると考える。</p>
	地域	①私は、学校教育目標や教育方針を理解している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

鶴ヶ島市立新町

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学級経営	教職員	②私は、児童のよさや可能性を発揮できる学級経営を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果について の分析・課題</p> <p>昨年度までの学校課題研究「特別活動」で望ましい集団活動の充実を目指し学級経営の基礎基本を学んだ。これまで培った知識と技術を維持向上するため、学級会の示範授業と指導者による講義を行った。結果、移動してきた教員や若手教員の資質向上につながった。今後も定期的に本取組を実施していく。</p>
	児童	②私は、学級での生活が楽しいと感じている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■系列1 ■系列2 ■系列3 ■系列4 ■系列5</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>本校の児童は基本的に「先生が好き」、「先生を信頼できる」との思いを持っている。同様に教員も児童の事が大好きである。加えて、教師は児童によりよい人とのコミュニケーション方法を伝えたいし、学力も高めたいと願っている。全児童が学級での生活を楽しんでいることができるよう、更に学校課題研究を中心に自己有用感を高める研究を推進していく。</p>
	保護者	②学校は、児童のよさや可能性を発揮できる学級づくりをしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>○学級担任は熱心に学級経営を行っている。 ○児童の悪い所に目が行きがちだが、教員は良さや可能性を発揮させ、伸ばしていると感じる。 ○子供たちが学校に行きたいと思わせるような環境づくりを、引き続きお願いしたい。 ○児童の良さや可能性を引き伸ばすには、もっともっと子供たちに関わり、知るということが大切だと考える。</p>
	地域	②学校は、児童のよさや可能性を発揮できる学級経営を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

鶴ヶ島市立新町

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学習指導①	教職員	③私は、児童が意見を主体的に発表したり、他者の意見を聞いたりして学びを深める授業を実践している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果について の分析・課題</p> <p>本校は、全教職員で「学び合い学習」に取り組み、よりよい指導法を研究している。当初、教員は児童の主体性の低さが要因と考え、どの授業や活動にも話し合い活動を取り入れた。そこから学び合い学習に繋げていった結果、児童の主体性が向上し、積極的に発表したり、人の意見をしっかり聞けたりするようになった。少しずつ学びを深める授業が実践できてきた。更に授業法の研鑽を積む。</p>
	児童	③私は、自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれながら勉強している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>児童は話し合い活動、学び合い学習に慣れてきている。楽しいと感じているので、今後も更に児童の非認知能力の高さを活かした学び合い学習の方法を研究していきたい。</p>
	保護者	③学校は、児童が自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれる授業をしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>○発表が苦手、意見を発表しづらい、できない児童にどのように対応しているのか、よく分からないとの意見があった。どのように分かりやすく示すかが今後の課題である。 ○学校は、授業中に意見発表時間を設けて、児童同士が考える場を与えている。 ○折にふれて、授業参観をさせていただいている。めあてに沿った授業が推進されている。 ○しっかりと発表し、それに対するアクションをしっかりとっていることが、授業を観察していると感じられる。 ○授業参観を通して、児童が自分の意見を発表し、グループで考えをまとめる場面が多々見られ、工夫して授業を行っていることがよく分かった。 ○多様化を取り入れ、批判することよりも、受け入れる、認め合うことが大切になってくると思うが、どのように共存してゆけば良いのか、子供たちがどう判断するのか、難しい課題だが、大人がどう伝えていくのかにかかっていると考ええる。</p>
	地域	③学校は、児童が自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれる授業をしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

鶴ヶ島市立新町

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学習指導②	教職員	④私は、学習目標達成のために学習用端末や大型モニタ等のICT機器を活用して、わかりやすく工夫した授業を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>ICT機器(学習用端末と大型モニタ)の活用は、今年度一層向上した。全職員が日常の授業で活用したと回答している。それが充実した授業実践につながっている。ICT機器の使用方法が授業の内容にならないよう、十分に注意していきたい。</p>
	児童	④私は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりして、積極的に授業に参加している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>児童のICT機器活用能力は、教職員よりも習得する速度が速い。友だち関係でトラブルが生じた際に、教師が気づかなかつたり、対応できなかつたりして問題が大きくなる、いじめに発展する可能性も想定される。情報教育主任を中心にICT機器活用に未だ不安を感じる教員に支援を行い、知識・技術の向上を図りつつ、想定される諸問題への未然防止にあたる。</p>
	保護者	④学校は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりする、授業を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>○学校は、充分に行っていると考える。 ○児童間で格差がみられる。底上げにつながる指導をお願いしたい。 ○社会の授業等で実際に写真等を映して有意義に使用していると思う。 ○ICTを使うべきところはしっかり使い、調べ学習に熱心に取り組む、姿に感心した。 ○学校と家庭での端末の使用の仕方に違いがあるように感じられる。 ○ICT社会になるに連れ、端末を使用することで本を手にすることが少なく、苦勞して調べなくても適当な答えが探せてしまうので、良いのか、悪いのか判別が難しい。 ○学習用端末は授業中の使用は有意義なものであるかもしれないが、家庭に持ち込むとそれに値しないと感じる。宿題や家庭学習はノートに書いて覚えるアナログなやり方もいいと思う。持ち帰るならYouTubeは絶対に見られないように制限をかけるなど管理を徹底してほしい。</p>
	地域	④学校は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりする、授業を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立新町

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
体力	教職員	⑤私(学校)は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、児童の体力向上を図っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果について の分析・課題</p> <p>すべての体育的行事が行われるようになったが、内容や実施時間が変容している。限られた時間の中で、教職員は、児童の体力向上とたくましい体づくりを目指し、より効果的な指導の工夫を研究してきた。休み時間も外で児童と共に遊ぶ教員が増え、児童は楽しく過ごす時間が増え、体力が徐々に向上している。</p>
	児童	⑤私は、体育や休み時間に、校庭や体育館などいろいろな運動をして、体力をつけようと努力している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>本校の児童の体力は、市や県と比較しても引けを取らない。教職員も外に出て一緒に遊び、楽しく精一杯体を動かしていることが体力向上に繋がっている。しかし、大きな課題は、積極的に運動したがない児童をやる気にさせることである。体育の授業内容の充実・教員の指導力向上と共に、体育的行事の工夫も視野に入れていく。</p>
	保護者	⑤学校は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、児童の体力向上を図っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>○学校は十分に体力向上を図っている・児童の体力は充実していると感じる。 ○学校は運動会、マラソン記録会、長縄記録会等、子供たちが活躍できる機会を設け、またそれに向かって体力向上できるように取り組んでいる。 ○体力だけでなく、ゲーム等で下ばかり向いている等同じ姿勢でいるので肩こりの児童が増えていると聞くので、各授業でストレッチ指導当も考えてはどうか。 ○持久走大会等、他の児童と競うといった活動が少なくなりつつあるが、自発的に体を動かす環境を作ってほしい。 ○持久走大会が無くなったのが寂しい、との話を地域でよく聞く。学校教育と地域の接点がそこにはあったと思う。道沿いに地域の方々が出て、児童の走りを見守り、応援を楽しみにしていたそう。 ○コロナ禍は十分な運動ができなかったと思うので、どの位体力が付いたのか不安である。学校は体力の伸びと課題点をを分かりやすく保護者・地域に伝える必要がある。 ○運動会の簡素化が残念である。勝敗がつかなくなり面白みに欠ける。リレーや組体操がもっと見たいとの保護者地域の声をよく耳にする。</p>
	地域	⑤学校は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、児童の体力向上を図っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

鶴ヶ島市立新町

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察													
生徒指導①	教職員	⑥私は、児童の生徒指導上の課題等に対して、組織的に、家庭と連携・協力しながら対応している。	<table border="1"><thead><tr><th>評価結果</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>①</td><td>67%</td></tr><tr><td>②</td><td>29%</td></tr><tr><td>③</td><td>5%</td></tr><tr><td>④</td><td>0%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr></tbody></table>	評価結果	割合	①	67%	②	29%	③	5%	④	0%	⑤	0%	評価結果についての分析・課題	本校は、生徒指導上の課題解決に向けて、一人で対応せず、必ず生徒指導主任を中心としたチームであった。児童からの丁寧な聞き取り、保護者への詳細な説明、保護者との面談、ケース会議、関係機関との連携等、きめ細かに対応している。結果、早期解決につながっている。また普段からアンテナを高くし、児童同士のトラブルの未然防止にも注力している。
	評価結果	割合															
	①	67%															
	②	29%															
③	5%																
④	0%																
⑤	0%																
児童	⑥私は、いじめやトラブルなどの問題に対して、先生やうちのの人に相談し、一緒に解決しようとしている。	<table border="1"><thead><tr><th>評価結果</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>①</td><td>61%</td></tr><tr><td>②</td><td>26%</td></tr><tr><td>③</td><td>7%</td></tr><tr><td>④</td><td>6%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr></tbody></table>	評価結果	割合	①	61%	②	26%	③	7%	④	6%	⑤	0%	課題解決への方策	学校内で生じたトラブルは、迅速に対応する。聞き取りや指導は基本、その日のうちに取り掛かる。保護者にはその日聞き取った内容やどんな指導をしたかを丁寧に説明する。解決するまで継続する。また、家庭や地域で起こったトラブルについては、当事者同士、家庭同士で解決できるようこれからも呼びかけていく。	
評価結果	割合																
①	61%																
②	26%																
③	7%																
④	6%																
⑤	0%																
保護者	⑥学校は、いじめやトラブルなどの問題に対して、組織的に、家庭等と連携・協力しながら対応している。	<table border="1"><thead><tr><th>評価結果</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>①</td><td>29%</td></tr><tr><td>②</td><td>46%</td></tr><tr><td>③</td><td>8%</td></tr><tr><td>④</td><td>3%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>13%</td></tr></tbody></table>	評価結果	割合	①	29%	②	46%	③	8%	④	3%	⑤	13%	学校関係者評価委員会による評価	○学校は充分に対応している。 ○学校と家庭のつながりは昔よりも希薄になっていると感じる。各家庭ももっと学校の教育現場に興味をもって、協力し合うようになればと思う。 ○授業参観だけだと、家庭と連携して学習ができているかを知ることは難しい。なかなか難しいと思うが、家庭にも重きを置いて対応をしてほしい。今後、家庭教育の充実を更に高めていく必要がある。	
評価結果	割合																
①	29%																
②	46%																
③	8%																
④	3%																
⑤	13%																
地域	⑥学校は、児童の生徒指導上の課題等に対して、組織的に、家庭等と連携・協力しながら対応している。	<table border="1"><thead><tr><th>評価結果</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>①</td><td>20%</td></tr><tr><td>②</td><td>70%</td></tr><tr><td>③</td><td>0%</td></tr><tr><td>④</td><td>0%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>10%</td></tr></tbody></table>	評価結果	割合	①	20%	②	70%	③	0%	④	0%	⑤	10%			
評価結果	割合																
①	20%																
②	70%																
③	0%																
④	0%																
⑤	10%																

鶴ヶ島市立新町

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察											
生徒指導②	教職員	⑦私は、児童のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。	<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>①</td><td>38%</td></tr><tr><td>②</td><td>57%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>5%</td></tr></tbody></table>	評価項目	割合	①	38%	②	57%	⑤	5%	評価結果について の分析・課題 児童それぞれよい点、課題点があり、それによって個性と個性がぶつかり合い、トラブルになることもある。集団生活では当然の事であり、うまく解決できると双方の児童の成長につながる。学校としてチームで解決にあたっている。日々、トラブルが生じて、円満な解決を心掛け、丁寧に接している。解決を長く持ち越している案件がないことは大きな成果といえる。			
	評価項目	割合													
	①	38%													
	②	57%													
⑤	5%														
児童	⑦私は、自分のよさや可能性を伸ばしたり、友達との関わりを大切にしながら、自分の目標に向かって行動したりしている。	<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>①</td><td>66%</td></tr><tr><td>②</td><td>28%</td></tr><tr><td>③</td><td>4%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>2%</td></tr></tbody></table>	評価項目	割合	①	66%	②	28%	③	4%	⑤	2%	課題解決 への方策 平素より全校児童に対して、校長の講話の中で「小さな成功体験を積み重ね自己有用感を高め、自分を成長させてほしい。」と伝えている。重ねて担任教師からも自分の可能性を伸ばし友だちと協力して目標を達成することの大切さを説いている。結果、児童の自己肯定感の高まりと教員に対する信頼が高まっているのを感じる。ただし、6%の児童が自分に自信を持ってないと回答しているので、今後、対象児童に目をかけていく。		
評価項目	割合														
①	66%														
②	28%														
③	4%														
⑤	2%														
保護者	⑦学校は、児童のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。	<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>①</td><td>22%</td></tr><tr><td>②</td><td>37%</td></tr><tr><td>③</td><td>19%</td></tr><tr><td>④</td><td>5%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>18%</td></tr></tbody></table>	評価項目	割合	①	22%	②	37%	③	19%	④	5%	⑤	18%	学校関係者評価委員会による評価 ○学校は十分に努めている。 ○子供の特性や発達段階に合わせてチャレンジルームの活用を行い、一人一人の児童に寄り添っていただいていると感じる。 ○子供の悩みも複雑になり、教員だけでは対応しきれないこともあると思う。もっとここに対応できる仕組みを、学校だけでなく家庭地域全体で考えていくべきだと考える。 ○できないことよりできることに重視し、できたことに対してたくさん褒める場面が見られ、非常に良いと感じた。 ○いじめに関して力を入れているのを学校便りや懇談会などで感じているが、子供たちは多感な時期である。家庭でも子供の状況を注意して見ていきたいし学校と共有していきたいと考える。
評価項目	割合														
①	22%														
②	37%														
③	19%														
④	5%														
⑤	18%														
地域	⑦学校は、児童のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。	<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>①</td><td>40%</td></tr><tr><td>②</td><td>60%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr></tbody></table>	評価項目	割合	①	40%	②	60%	⑤	0%					
評価項目	割合														
①	40%														
②	60%														
⑤	0%														

鶴ヶ島市立新町

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察											
特別支援教育	教職員	⑧私は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。	<table><tr><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td>⑤</td></tr><tr><td>33%</td><td>52%</td><td>5%</td><td>0%</td><td>10%</td></tr></table>	①	②	③	④	⑤	33%	52%	5%	0%	10%	評価結果について の分析・課題	一人一人の特性を理解すると共に、それぞれに合った支援・指導の実践に取り組んでいる。よりよい実践を目指し、有意義なカリキュラムの編成や教材教具の準備・整備、指導法の工夫改善に注力している。未だ教材の種類や数が充分とはいえないことが課題である。
	①	②	③	④	⑤										
	33%	52%	5%	0%	10%										
	児童	⑧私は、苦手なことなどを、先生やうちのの人に相談し、一緒に解決しようとしている。	<table><tr><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td>⑤</td></tr><tr><td>57%</td><td>29%</td><td>9%</td><td>4%</td><td>0%</td></tr></table>	①	②	③	④	⑤	57%	29%	9%	4%	0%	課題解決 への方策	一人一人の児童に寄り添う支援・指導ができなければ、児童・保護者が教員に相談したいとは思わない。児童自身が相談しやすい雰囲気を作れるような学級経営を目指す。また、児童同士が話し合いや相談ができるような学級集団を築けるように、今後も研鑽に励み、特別支援教育について学ぶ。
①	②	③	④	⑤											
57%	29%	9%	4%	0%											
保護者	⑧学校は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。	<table><tr><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td>⑤</td></tr><tr><td>20%</td><td>50%</td><td>12%</td><td>3%</td><td>15%</td></tr></table>	①	②	③	④	⑤	20%	50%	12%	3%	15%	学校関係者評価委員会による 評価	○学校は積極的に個に応じた指導を取り入れている。 ○個に応じた支援をされていると感じるが、専門機関との連携を更に深めてほしい。 ○自信を持って取り組んでいるのが伝わる。この取り組みをもっと発信していくと良いと思う。 ○先生と児童が信頼関係が築けているのが感じられる。今後も更に指導法の工夫を行い、授業力と指導力を高めていきたい。	
①	②	③	④	⑤											
20%	50%	12%	3%	15%											
地域	⑧学校は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。	<table><tr><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td>⑤</td></tr><tr><td>50%</td><td>40%</td><td>0%</td><td>0%</td><td>10%</td></tr></table>	①	②	③	④	⑤	50%	40%	0%	0%	10%			
①	②	③	④	⑤											
50%	40%	0%	0%	10%											

鶴ヶ島市立新町

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察											
地域とともにある学校	教職員	⑨私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに努めている。	<table><tr><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td>⑤</td></tr><tr><td>38%</td><td>57%</td><td>0%</td><td>0%</td><td>5%</td></tr></table>	①	②	③	④	⑤	38%	57%	0%	0%	5%	評価結果についての分析・課題	学校運営協議会は担任や一般の教員には理解が難しい。管理職からの報告も、実感できないと思われる。しかし留守電対応の許可をいただいたことは、どの教員も知っている。また学校応援団の活動は、1年生給食支援、2・3年生校外学習補助、5・6年生読み聞かせ劇、図書室本棚修繕、5年ミシンボランティア、6年戦争体験講話、賞状の名前記載等、多岐にわたり、教員児童共に目に触れる活動で認知度も高い。
	①	②	③	④	⑤										
	38%	57%	0%	0%	5%										
	児童				課題解決への方策	学校運営協議会は、管理職と地域だけの交流の場ではない。口頭の報告だけでなく、報告書を回覧するなど認知度を高めたい。熟議を多々取り入れ、地域と学校が力を合わせ、「地域とともにある学校」を実現したい。また、学校応援団の活動は、児童に寄り添った活動ができ、「ありがとうの会」では、団員に感謝を伝えることができ、大変喜ばれた。									
保護者		⑨私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに協力している。	<table><tr><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td>⑤</td></tr><tr><td>21%</td><td>46%</td><td>20%</td><td>3%</td><td>9%</td></tr></table>	①	②	③	④	⑤	21%	46%	20%	3%	9%	学校関係者評価委員会による評価	○学校は地域とともにある学校づくりに努めていると思う。地域の方も協力的で、学校理解・学校保健ではボランティア活動も積極的な参加である。 ○地域とのつながりの大切さを年々感じている。今後もよろしく願いたい。 ○地域の方の善意・ご奉仕の心があって学校運営が成り立っている。その根幹ともいえる地域ボランティアや学校応援団員の高齢化への対応が今後の大きな問題である。
①	②	③	④	⑤											
21%	46%	20%	3%	9%											
地域		⑨私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに努めている。	<table><tr><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td>⑤</td></tr><tr><td>50%</td><td>50%</td><td>0%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr></table>	①	②	③	④	⑤	50%	50%	0%	0%	0%		
①	②	③	④	⑤											
50%	50%	0%	0%	0%											

鶴ヶ島市立新町

小学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
働き方改革	教職員	⑩私は、働き方改革の目的を理解し、業務改善を進め、心身ともに健康であるよう努めながら、教科指導や教育相談等に係る時間を増やし、教育の維持・向上に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果について の分析・課題</p> <p>校内組織の業務改善推進委員会の呼びかけ、取組により、教職員の勤務時間(ノー残業デー・ふれあいデー)への意識が高まり、早く帰る職員が増えた。また、留守番電話対応時刻の30分繰り上げにより、実際にほとんどの職員の退勤時間が早まった。体調を崩す職員が減少した。</p>
	児童			<p>課題解決への方策</p> <p>今年度、校内業務改善推進委員会の働きかけが効果的だった。具体策は、計画年休制度(前もって年休希望日を表示)、前もって早く帰る日を机上に提示するの2つである。成果としては①体調不良職員の減少②教員が児童と過ごす時間の確保である。課題は全職員が達成できていないことであり、今後も声掛けと方策を継続する。</p>
	保護者			<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>〇働き方改革が叫ばれている中、児童の家庭や地域の声に耳を傾けていただき、感謝している。今後も学校・地域とが連携し、より良いものにしていけたらと感じる。</p>
	地域			